

乳児クラスを中心に体調不良の欠席者が増えています

発熱・咳、ヘルパンギーナやRSウイルス感染症による欠席者が0，1歳児クラスを中心に増えています。

〇〇区医師会の集計している感染症サーベイランス情報によると胃腸炎の流行に加え、新型コロナウイルス感染症・ヘルパンギーナが先週より増加し、RSウイルス感染症と溶連菌感染症も増加傾向してきており注意が必要とされています。

朝から体調を観察して、熱がある時、咳や咽頭痛で食事や睡眠がとれない時、体に発疹などがみられる時、いつもと違う顔色や元気がない時などはかかりつけ医の受診をお願いします。

毎年の傾向で6・7月は体調を崩して欠席するお子さんが多くなります。この時期は園で過ごす時間も長くなり、疲れも出やすくなります。季節柄による気温差も原因の一つかもしれません。

乳児クラスでは、治りかけの状態に登園し熱をぶり返しお迎えを余儀なくされている児が多くみられますので、いつもの食欲・活気・睡眠状態に戻ってからの登園をお願いします。

念のため1日様子を見るためお休みする、また病児・病後児保育室などを上手に活用するなどして、子どもたちの健康に留意してあげましょう。